

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年 6月20日

団体名 NPO法人ともにステップ
 住所 〒340-0053 埼玉県草加市旭町5-5-9
 TEL・FAX 048-944-6672
 代表者名 益子 祐二
 (TEL)

事業の名称	子育て支援. 障がい児者の生きがいづくり	
協働したい市町村と部署名 ※具体的な市町村名(複数でも可)と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。	草加市・八潮市・越谷市 子育て支援課・障がい福祉課	
1 事業の内容	<p>障害を持つ子ども達は. 就学を迎えると. 療育機関・保育サポート機関も減り. 孤立しがちになる. それまで頑張ってきた親たちは. 体が大きくなり. 自己主張も強くなり. 子どもの対応に困り. 子ども達も家での楽しみはビデオゲーム. 食べる事ばかりなのが現実. そこで. 中高生～成人を対象とした音楽サークルを作り. 心身のリラクゼーション. 自分のみが楽しむだけでなく. 様々な人との関わりの中で. 協調性と社会性を身につかせ. 週一回程度で. 自主通.(できず. 子ども達は親と参加)音楽療法士による指導を受け. 学校や. 作業所等の帰宅後又は土・日に余暇活動として. 行う. 地域の方たちにもボウリングを広く呼びかけ. 子育て支援と子ども達への生きがいづくりを. 両立し. 地域の理解を深め. 福祉のありつくりを活性化す事業としたい.</p>	
2 事業にかかる経費(経費がかかる場合のみ事業総額を記入)	人件費-音楽療法士. 保育士. サポーター. . 場所代. . 宣伝費	
3 市町村の役割として期待すること(広報紙によるPR. 実施会場の提供 等)	人件費への援助. 場所の提供	
4 協働によって期待できる成果	<p>行き場も. 子事も. 二次的障がいを招いてしまう子どもたち. 心. 身体の変調に. 対応できず. 親の負担を軽減し. 子どもたちの生きがいづくりが. 期待でき. 子育て支援. 自立支援の両面を. 期待でき. 地域の活性化につなげる.</p>	

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年 6月27日

団体名 NPO法人 とよあしはら
 住所 〒343-0043 越谷市上間久里281-17
 代表者名 宮林 茂幸
 (TEL 048-976-1170)

事業の名称	とよあしはら プロジェクト
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分らない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	教育委員会、市民活動推進課、 環境課
1 事業の内容 <ul style="list-style-type: none"> ○ ヒートアップ浮島の設置（水質浄化、水辺の生態系再生） ※資材は土に帰る自然素材（竹、間伐材、木炭、水玉植物等） ○ 子供を中心とする環境保全活動の実践（子供へのアピール度大） ○ 各種団体へ活動参加呼びかけ ○ 実施日は半日程度で終了するイベントとして実行。 ※関係者のあいさつに始まり、直水式で終了 	
2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入） ヒートアップ浮島一基当り材料費 20万円	
3 市町村の役割として期待すること（広報紙によるPR、実施会場の提供 等） 浮島設置の許認可協力 市民団体、学校の環境保全活動に関する情報提供	
4 協働によって期待できる成果 各種市民団体の連携促進。 実践的、環境保全活動促進 子供の活動参加促進（子供を中心とする各種団体の協力と活動の継続）	

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成 20 年 6 月 21 日

団体名 NPO法人 楽市楽画
 住 所 〒341-0021
 埼玉県三郷市さつき平2-5-2-403
 代表者名 打田 純二
 (Tel.048-951-8198)

事業の名称	水のキャンパス「水玉りん：彩玉」	
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	埼玉県三郷市他	
1 事業の内容 ◆ ヒートアイランド対策と水資源の有効活用を目的とした活動 ・雨水を効果的に利用することで、都会の夏の異常高温に対応する「実験」を展開します。 ・屋上緑化のデメリット（気軽に設置できない、また助成金にも設置面積等の制限がある）を補完します。 ・下記 1)～3) を特殊な、雨水をたくわえる多彩な容器「水玉りん：彩玉＝以下（サイタマ）という」で実現します。サイタマをあらかじめ屋上に設置することで、都市の空中・空間を彩りながら 1) 都市型洪水をすこしでも緩和する 2) 屋上などの温度をすこしでも下げて、ゲリラ豪雨の影響をすこしでも減らす 3) 広告展開をすることで商業ベース化を図る。 ＜資料 1：オレンジ色のLOHASの字＞		
◆ 特殊容器「サイタマ」による環境改善 ・上記 1～3) の役割を終えた後、「サイタマ」を水資源の再配分に利用します。「サイタマ」の特長は「滝の力」の自然動力で、水を自動封入・運搬する機能を有する事であり自然由来の素材で作られています。 ・実際は土に埋めると土に還るプラスチックで作るため、運んだ後の容器の事後処理に困りません。 ＜資料 2：サイタマのイメージ図＞		
・水は、パイプ、タンク、保水剤がなければ運べない、という通念に対し、物流のすきま・余力に水運搬を行う、という考え方を社会に導入する。言い換えると鉄道、トラックでも水を運べる様にします。		
◆ 障害者による環境改善・社会参画活動である。 ・屋上に雨水を含む多彩な玉を多数設置することで点描画を展開します。点描画のデザインは障害者や美術家が行っています。 ＜資料 3：障害者作図＞		
2 事業にかかる経費 （経費がかかる場合のみ事業総額を記入） ≒30万円（見積は提出します。）		
3 市町村の役割として期待すること （広報紙によるPR、実施会場の提供 等） ①最も人目のつく所の提供と、1日2回の温度測定。例えば、首都高・外かん・常磐道・首都高から見て一番目のつく所の1週間単位の提供。 ②障害者の中で、絵の好きな人の協力。 ③設置時 2～3人の方の協力者がいれば助かります。		
4 協働によって期待できる成果 ・障害者のデザインした作品を販売できる。 ・その収益で電子データによる健康管理を企画する。できれば一生涯のデータを保持する。 企画に利用した物品は、緑の回復に再利用できる。三菱化学、味の素が開発したGSプラと、砂漠の保水・緑化に利用されている「スカイジェル」、回収した羊毛「反毛」を利用するため。羊毛は航空機の床材になるほど耐熱性があり、さらに埋めると土地を豊かにします。 ＜資料 4：芽吹く＞		

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成 20 年 6 月 16 日

団体名 特定非営利活動法人成年後見センターあい
 住 所 〒344-0067春日部市中央七丁目 9 番地 2 0
 代表者名 理事長 小山 典宏
 (Tel 048-733-8258)

事業の名称	「市民後見人育成事業」 ・市民後見人養成講座と後見事務の実務実習講座を開催
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	春日部市、越谷市、宮代町、杉戸町の地域包括支援センターを統括する担当部署
<p>1 事業の内容</p> <p>超高齢化社会の到来により成年後見制度を必要とする人が急増しています。当法人は高齢になっても最後まで自分らしく生きるために任意後見制度利用促進を図り、普通の人が制度を利用できるよう低料金で任意後見人を受任し、また、判断能力が衰えて任意後見制度利用ができなくなった方の法定後見人も受任してきました。</p> <p>当法人は昨年 4 月設立以来、春日部市や越谷市の地域包括支援センターと協働し、成年後見制度普及促進に取り組んできました。ところが、制度利用希望者の増加に伴い、設立 2 年目にして後見人の担い手不足に陥ることが明らかになりました。当法人の主な会員構成は行政書士、司法書士、税理士、社会保険労務士等の資格者で、これらの資格者に呼びかけ会員増員を計画しているところです。しかし、地域包括支援センターとの協働による後見人受任は、ボランティア的色彩の強い活動になるため希望者が少ないのが実態です。そこで、資格者以外の方を後見人に養成し、法人として受任したクライアントの担当者として、私達と共に市民後見人として活動していただく人材育成が急務となっております。このようなことから、市民後見人養成講座と後見事務の実務実習講座を開催する「市民後見人育成事業」を計画しました。</p>	
<p>2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入）</p> <p>後見人養成講座の資料作成費と外部講師（当法人内部の講師候補者は 1 名）の謝礼が 80 万円から 100 万円の経費を予定しています。</p>	
<p>3 市町村の役割として期待すること（広報紙による PR、実施会場の提供等）</p> <p>経費の助成、広報紙等による PR、市民後見人養成講座の会場の提供、地域包括支援センター職員の受講、市幹部や担当部署の職員の受講</p>	
<p>4 協働によって期待できる成果</p> <p>当法人が市民後見人の受け皿となることで、地域における後見人受任者人口の増加が期待でき、地域包括支援センターに寄せられる成年後見制度利用のニーズに応える態勢を強化することができる。また、養成講座の受講者を市民後見人希望者以外に拡大することで、一般市民に成年後見制度を理解していただき、制度の利用促進を啓蒙する効果が期待できる。</p>	

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成 20 年 6 月 21 日

団体名 特定非営利活動法人 NPO 埼玉ネット
 住 所 〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保
 519番地1 埼玉県浦和・大久保合同庁舎 1号館
 代表者名 代表理事 齋藤 克子
 (Tel.048-714-0501・FAX048-714-0509)

事業の名称	コミュニティFM局の開設を目指す研究会設置	
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	春日部市 埼玉県東部地域ふれあい拠点施設基本 構想検討委員会担当	
<p>1 事業の内容</p> <p>春日部駅前に、埼玉県東部地域ふれあい拠点施設が計画されており、その拠点の中にコミュニティFM局を春日部市、商工会議所、青年会議所、NPO等が協働して企画運営できるか？を探る研究会を実施したい。</p> <p>ご承知のように、コミュニティFM局は、まちづくり、防災・安全、地域文化形成に力を発揮しております。</p> <p>また、埼玉県内では、まだ4箇所でしか開局していません。春日部地域をエリアとする東部地区での開局が望まれています。</p> <p>2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入） 研究会自体はかかりません</p> <p>3 市町村の役割として期待すること（広報紙によるPR、実施会場の提供 等） 広く地域の団体に呼びかけて、参加者を募り、開局実現に協力いただきたい。また、研究会会場の提供をいただきたい。</p> <p>4 協働によって期待できる成果 開局までに、おおむね5000万円が必要ですが、地域団体、NPOのコンセンサスが得られれば、開局に向けて出資、運営主体等について前進すると思われる。</p>		

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月21日

団体名 NPO法人 東上まちづくりフォーラム
 住所 〒353-0006 志木市館2-5-2 鹿島ビル4階
 代表者名 柴田 郁夫
 (Tel 048-476-4600)

事業の名称	団塊世代による地域の活性化	
協働したい市町村と部署名 ※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。	杉戸町 生涯学習センター	
1 事業の内容 団塊の世代の方々は情報化社会で積極的に生きて来られた方と、不幸にしてインターネットや携帯電話に触れることなく第二の人生に入られた方が居られます。後者の方はどうしても情報に対して受身で人間関係までもが受身になってしまい、その為に社会性までも受身になってしまいます。このような方にインターネットに親しんでもらうための制度が「シニア情報アドバイザー」です。 （シニア情報アドバイザー制度とは、経済産業省の外郭団体、ニューメディア開発協会が認定する資格で、IT活用により高齢者の社会参加と充実した生活の支援の制度です） 情報通信手段を得た団塊世代の方々に、地域の活性化のステージを提供し、出来るだけ多くの方に参加いただくことで地域が活性化します。 ■ステージの提供 ①地域の歴史情報交換サイトの開設 →出かけて見る→掃除などのイベント→コミュニケーション ②趣味別同好会サイトの開設 →定期的に皆なで楽しむ集い→コミュニケーション		
2 事業にかかる経費 （経費がかかる場合のみ事業総額を記入） 以下を含め1市町村概算10万円（年間） <ul style="list-style-type: none"> ・講習会実施のための交通費、コピー等実費（テキスト代は受講者負担） ・ヘルプのための通信費、資料検索 ・ホームページ運営費 		
3 市町村の役割として期待すること <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙によるPR ・市町村ホームページからのリンク（活動の拠点はホームページを想定している） 		
4 協働によって期待できる成果 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心してITを活用し、生活の充実を図ることができる ・定年退職者がITをベースに積極的に地域社会に参画することができる ・市町村のITリテラシーを高め、インターネットを活用した行政が推進できる 		

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月21日

団体名 NPO法人 東上まちづくりフォーラム
 住所 〒353-0006 志木市館 2-5-2 鹿島ビル 4階
 代表者名 柴田 郁夫
 (Tel 048-476-4600)

事業の名称	エコショップ フォーラム
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	三郷市 産業振興課
1 事業の内容 <p>CO2削減は地球の健康回復の国際課題として取り組まなければならないテーマです。三郷市商工会では、県内商工会で商工会議所も含めて初めて「エコショップ・エコオフィス」なる運動として「包装を簡素化したり、リサイクル商品の販売をするなど、市内でごみ減量やリサイクルに積極的に取り組んでいる店舗や事業所を商工会が認定する」活動を行っています。これは全国的にも大変ユニークで有意義な活動です。</p> <p>当NPOでは、ビジネス助っ人隊のエコストアチームが、5月15日に新都心ビジネス交流プラザ（北与野駅前）にて「エコストア開発セミナー・自ら率先しなければ何も変わらない」を開催し、県内有力デパート、総合スーパー、食品スーパーの幹部など16社30名に参加いただきました。この経過を生かし、商工会の活動を三郷市としても側面から支援する「エコショップ・フォーラム」の開催を提案します。</p> <p>主催；当NPO、後援；三郷市、三郷市商工会、 協賛（展示）；東京電力・ガス会社・省エネ機器メーカー・トレーメーカー・市内事業者 会場；三郷市立瑞沼市民センター 聴講対象者；市内店舗／事業体の経営者・管理者、一般市民 目的；地球・日本・三郷市・家庭と事業体が今なにがCO2削減か？を認識して貰い、お店、会社、市民が一体となって環境課題に取り組む運動の第一歩とする。 内容（講師・案）；今なぜCO2削減化（国の機関）、家庭のCO2削減はゴミの削減から（県環境アドバイザー）、賢いエコは安全安心の見極めから（当NPO）、商工会の取り組み発表（商工会）、を講演し、環境ゲームなどお楽しみも実施します。 *環境問題で活動している市民団体があれば追加します。 講師；当NPO、省エネルギーセンターなど公的機関からも当NPOから招聘します。</p>	
2 事業にかかる経費 （経費がかかる場合のみ事業総額を記入） 会場費 ；市のイベントとして無料 講師謝礼；市のイベントとして薄謝礼・・・原資；講演企業 市民への聴講募集（市広報・ポスター・放送） 市内事業者への聴講募集（商工会会報） お楽しみイベント（抽選会）・・・原資は協賛企業	
3 市町村の役割として期待すること 市民の動員（広報紙によるPR、地区自治会・各事業体等）	
4 協働によって期待できる成果 環境問題は市民運動が大切で、レジ袋問題以来、お店と市民の意識の変化がマイバックが定着しつつある。このムードを継続させ高揚させるイベントをNPOとの連携を提案します。	

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月28日

団体名 特定非営利活動法人 彩郷土塾
 住 所 〒346-0013久喜市青葉5-22-22
 代表者名 角保恵喜
 (Tel 0480-226638)

事業の名称	環境活動エコリーダー養成講座実施事業	
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	久喜市及びその周辺市町村の教育委員会	
1 事業の内容 1) 趣旨 私たちは今、暮らしの周辺から地球規模まで、かつてない困難に直面しています。原油高、食糧不足、地球温暖化のトリプルクライシスです。3つの課題が暮らしの足元を揺るがしています。暮らしを守り、地球を守るために市民一人ひとりが問題を共有して立ち上がる時を迎えています。		
2) ねらい 私たちが日ごろの暮らしの中で、ささやかでも地球を救う大事業につながる、足元を照らす活動＝エコロジーライフ実践に向けた活動の輪を広げます。		
3) 事業の内容 最小行政単位のコミュニティで環境活動する地域エコリーダー養成講座を開きます。		
(内容) ① 私たちが暮らす生活環境、取り巻く自然環境の現状を知る＝環境問題入門 ② 地域外では環境活動がどう進められているか＝事例学習 ③ 私たちの足元を調べてみる＝市内視察 ④ 企業は環境問題にどう取り組んでいるか＝企業視察 ⑤ 環境活動エコリーダーの役割を認識する＝ワークショップ		
(参加呼びかけ対象者と人数) 市内に在住・通学・通勤する成人市民40人（行政と協力して、自治会・区長会・NPO・公民館・社協から市民に呼びかける）		
(受講料) 無料		
(修了者の特典) ① 市長又は町長から終了証発行 ② 環境活動エコリーダーの称号授与		

2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入）

- 1) 講師料 120000円（延べ8人×15000円）
 - 2) 資料代 15000円（50人×300円）
 - 3) 副読本代 40000円（40冊×1000円）
 - 4) 教材費・協力費 85200円
（模造紙40枚4000円、サインペンなど5000円、ポストイットなど2000円、インクジェット9000円、事前調査費30000円、視察訪問先協力費20000円、用紙代2000円、保険料44人×300円＝13200円）
 - 5) 事務局費 115000円（ボランティア手当4人×5日×5000円、交通費4人×5日×500円、電話料5000円）
- 合計 375200円

3 市町村の役割として期待すること（広報紙によるPR、実施会場の提供 等） （市町村）

- 1) 会場、学習機材（プロジェクター、映像機材など）の貸し出し
- 2) 告知活動・広報、宣伝への支援
- 3) 講師料など直接経費の支援

（提案団体の役割）

- 1) 講座の内容・運営に関する企画・立案・運営事務
- 2) 講師・機材・会場の手配・実行
- 3) 会計事務

4 協働によって期待できる成果

私たちの暮らしの環境現状を地球環境の危機の目線で捉えなおし、一人ひとりが今何をなすべきかを学習するとともに、講座修了者は環境活動エコリーダーとして、行政・地域コミュニティと協力して、地域の人びとの中心になって、エコロジーライフ向上を目指して指導活動します。同時に地域社会活性化への中心的役割を果たします。

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年 6月 27日

団体名 CS 21 (キャリア学習サポート21)
 住所 〒336-0916 埼玉県さいたま市緑区宮本2-28-1
 代表者名 栗 智恵子
 (TEL 048-874-6652)

事業の名称	子供たちの大切な未来を築くキャリア学習の支援
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名(複数でも可)と部署名を記入。分らない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	草加市の「子ども未来部」「子ども政策課」
1 事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学、高校、大学などへの「キャリア形成と職業選択」をテーマとした出前講座。 2. 働くことの意義を「仕事創造作業」を通じ実感させる「学生インターシップ」。 3. 個別の進路相談(キャリアカウンセリング)。 4. 親が学ぶ「青少年キャリア形成支援」セミナー。 5. 若者の「自立心と社会力」を高めるためのワークショップ。 6. 親世代への個別キャリアカウンセリング。 7. キャリアメンター(青少年キャリア形成サポーター)学習講座。 8. 子どもと親世代の「世代間交流の促進」のためのセミナー。
2 事業にかかる経費(経費がかかる場合のみ事業総額を記入)	数十万から最大限で年間200万円程度。規模の大小により異なります。
3 市町村の役割として期待すること(広報紙によるPR、実施会場の提供等)	PRの創造的な展開を当方で提案致しますので御協力をお願い致します。向諭、会場等の提供及び関係各位の御紹介など。
4 協働によって期待できる成果	市民の人生設計の大切さへの認識が、根本的に改善され、その結果、精神的に豊かになり、満足できる生活へ、非常に大きな貢献が期待できます。公共サービスの革新的向上の大きな一歩となります。

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成 20 年 6 月 29 日

団体名 特定非営利活動法人 さくらメイト
 住 所 〒361- 0022 2- 25- 11
 代表者名 高橋 豊
 (Tel 048- 553- 0300)

事業の名称	高齢者向け宅配弁当、宅老所、認可外保育所事業（幼宅老所）	
協働したい市町村と部署名 <small>※具体的な市町村名（複数でも可）と部署名を記入。 分からない場合は「〇〇を担当しているところ」等。</small>	行田市 高齢者福祉課、子育て支援課	
1 事業の内容 小学校や中学校規模の地域の、自治会や住民と協力しての ○高齢者向けの弁当宅配サービス ○高齢家庭の安否確認 ○安心相談サービス（ご用聞き） ○宅老所と認可外保育所を同じ場所で行う （長野県で実施している幼宅老所を空き店舗で行う）		
2 事業にかかる経費（経費がかかる場合のみ事業総額を記入） 30万円 （平成20年度商店街地域資源活用事業として取り上げていただきましたが、 チラシ等広報の経費が不足の為）		
3 市町村の役割として期待すること（広報紙によるPR、実施会場の提供 等） 広報誌により地域の皆さんに宣伝して載きたい		
4 協働によって期待できる成果 ○歩いて行ける範囲にあるので、家にこもりがちな高齢者も気軽に来られる。 ○キッチン、幼宅老でのパートの雇用の場の提供 ○ご用聞き運動による商店会の活性化 ○高齢家庭の安否確認		

NPOと市町村との協働 アイデアシート

平成20年6月24日

団体名 特定非営利活動法人かぞ市民ネット
 住 所 〒347-0005
 代表者名 杉 澤 正 子
 (Tel 0480-68-5343)

事業の名称	市民カルチャーセミナー事業
協働したい市町村と部署名	加須市 市民活動支援、まちづくり推進事業、 または生涯学習を担当しているところ
<p>1 事業の内容</p> <p>団塊世代の方々が定年退職する時期になり、新たな人生の目的を探したい、何か新しいことにチャレンジしてみたいという声を多く聞くようになりました。</p> <p>また、以前、加須市では県勤労婦人ホーム主催のカルチャー講座が活発に運営されていて、多くの市民が様々な分野で積極的に学ぶ風潮ができていました。ところが、市民プラザかその建設に伴い制度的にカルチャー講座の運営が困難となりました。</p> <p>今後、県や市町村によるカルチャーセミナー開催は、財政難のために講師謝金や担当職員が縮減され、市民の多様なニーズに充分応えることが期待できません。また、民間運営のセミナーは、それなりの経費がかかり、経済的に大きな壁となっています。</p> <p>そこで、受講者に多少の受益者負担を求める形でのカルチャーセミナーを、特定非営利活動法人かぞ市民ネットが企画運営し、市民の学びたいという要望に即応し、キャリアアップ、エンパワーメントにつながる事業を実施するものであります。また、託児を受け入れ、子育て中の若い世代にも学習の機会を提供することもできます。</p> <p>初めは個人の学習意欲の高まりからカルチャーセミナーに参加するわけですが、これまで職場と家との往復のみだった人々が、地域の仲間と新たなネットワークをつくり、地域の活性化の大きな力になることも期待できます。</p>	
<p>2 事業にかかる経費</p> <p>なし（必要経費はカルチャーセミナー参加者負担とする。）</p>	
<p>3 市町村の役割として期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙によるPR ・ 実施会場の提供 ・ 後援団体となる ・ 演題など一般ではできない印刷物の作成 ・ 公共機関へのポスター掲示 	
<p>4 協働によって期待できる成果</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市民が学びたいと要求していることに、少ない個人負担で対応できる。 ② 後援や広報紙によるPRで、市町村も生涯学習に寄与していることが示される。 ③ 市が所有している施設の活用度低迷を回避できる。 ④ 新たな人材発掘の可能性がある。 ⑤ 市町村、市民団体、市民とのゆるやかなネットワークができ、市町村主催の事業にこれまで無関心だった市民が、積極的に参加するようになる。 	